sukoyaka biyori

# すこやか日和




## うまか 獣医師の先生方から、うれしい評価をいただきました

日々、多くのワンちゃんと向き合っている獣医師111人を対象にしたアンケートが実施されました。その結果、「うまか」は原料や栄養、無添加設計といった点において、高い評価をいただくことができました。

**98.2%**
良い栄養バランスを実現している

**100%**
健康を考えてつくられた国産フードである

**98.2%**
鶏肉の鮮度や産地の明確さ、品質の一貫性が確保されている

獣医師111人を対象に2025年12月実施（ベッツアイ調べ）

健康なワンちゃんの飼い主様から相談された場合、
**獣医師の91%が「おすすめする」**
と回答しました。

獣医師評価製品
111人の獣医師が評価しました
111人の獣医師が実際に製品を使用し、評価しました。
評価の詳細はこちら
Vet's Eye

## ＼『うまか』座談会を開催しました！／

日ごろからご愛用いただいているお客さまをお招きし、座談会を開きました。今回は、商品開発への参加や「博多華味鳥」での水たきランチなど、いろいろな体験を通じて交流を深めることができました。ワンちゃんとの暮らしで感じていることや、フードに対する率直なお声も、ゆっくり伺う時間となりました。




参加者の声

今まで以上に安心安全なことを実感しました。

商品の安全性や、愛情をもって開発されているお話を伺えて、より安心が深まりました。作っている方とお会いできるのは嬉しいものですね。貴重な経験をありがとうございます。

ワンちゃんの健康を願う飼い主さまの思いに、より深くふれることができました。
私たちが大切にしている「命と向き合う」という姿勢を、これからもぶらさずに商品づくりとサービスに取り組んでまいります。
次回は、皆さまもぜひご参加ください！

## ワンちゃんの写真&メッセージを送ってください!!

投稿いただいた写真の中から選定し、会報誌に掲載させていただきます。

※応募いただいた写真・文章は、ホームページ・SNS・その他販促物等で使用させていただく場合がございます。予めご了承ください。

応募はこちらから
スマホで読み込んでね！

公式SNSをフォローして、最新情報をゲット！お見逃しなく！

Instagram @umaka873

LINE @zqw1911r

華ちゃん犬猫すこやか本舗
https://hana.inuneko-sukoyaka.jp

ともに、すこやかに。

華ちゃん

# すこやか通信

春号 2026 Spring




ロビンちゃん
ジャックラッセルテリア
（15歳）

**かおる**さん・東京都

4月1日で15歳になりました。毎日『うまか』、もちろんおやつも『うまか』。もっとずっと長生きしてほしいです。

スタッフより 15歳のお誕生日おめでとうございます♪おやつも『うまか』はすごい！うれしいですねー☆

## ＼うちの／「ワンコ」

お客様のかわいいワンちゃんをご紹介します♪

**くぅママ**さん・愛知県

『うまか』大好き、食べ終わってもじーっと見られ、まるでまだ何も食べていないような顔をするなど、食いしん坊で困っています(笑)

スタッフより 公園でほっとひといき、楽しそうですね♪そのまなざしに思わずおやつをあげたくなっちゃいます。



くぅちゃん
パグ
（5歳）

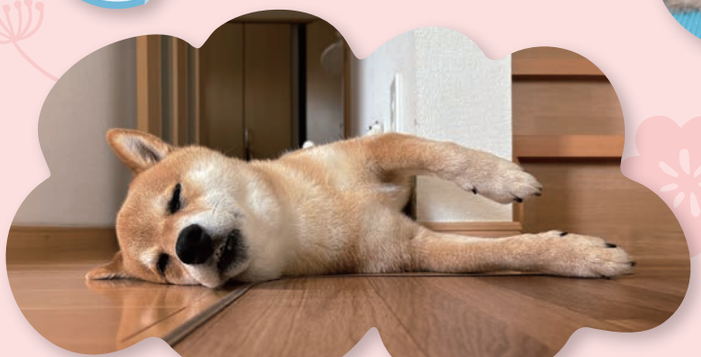


左／ぶんちゃん・右／げんちゃん
マルプー
（4歳）

**さくらんぼ**さん・宮城県

うまかを食べはじめてからキレイなワンちゃんだねって言われます！うまかパワーで毛並みサラサラ～

スタッフより 毛並みがキレイ～✨半開きのお口に手がピーン。なにか楽しい夢でも見ているのかな



ぼくちゃん
柴犬
（5歳）

**おじん**さん・神奈川県

『うまか』を食べて、元気に走り回っています～！

スタッフより おすまし顔のぶんちゃん＆舌ペロのげんちゃん。お祭りネックレスもステキ💛これからも仲良く元気に走り回ってくださいね！

B0103



# 飼い主さんの リアルなお悩み教えて！



ワンちゃんとの暮らしの中で、「うちの子だけ？」「ほかの飼い主さんはどうしているんだろう？」
そんなふうに感じたことはありませんか。
会員の皆さまに悩みを聞いたところ、中でも多かったのが「食事」「体重管理」「歯みがき」についてでした。
そこで今回は、アドックどうぶつクリニックの獣医師・田中克明院長に皆さまの悩みに答えていただきます。




（2025年12月会員様にアンケート実施）

みなさんからいただいた
## お悩みをご紹介

**食事**
- ☐おやつは食べるのにフードは食べない
- ☐食ベムラがある
- ☐早食い

**体重管理**
- ☐体重が増えた
- ☐痩せやすい体質
- ☐高齢で運動が難しくなってきた

**歯みがき**
- ☐ちゃんとみがけているか心配
- ☐何でみがけばいい？
- ☐嫌がる



**行動・しつけ**
- ☐ほかの犬や他人に吠える
- ☐落ち着きがない
- ☐噛む
- ☐うんちを食べる

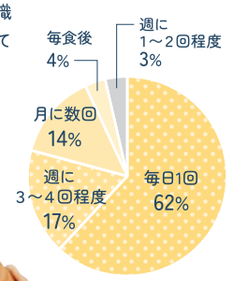


**ボディケア**
- ☐皮膚や耳のかゆみ
- ☐肉球の乾燥
- ☐涙焼け



## 歯みがき

さすがみなさん、歯のケアに関する意識が高いようで、8割の方が歯みがきをしていると回答しました。



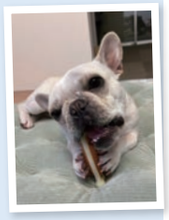

### Q 歯磨きの頻度は？



**お悩み**

**歯みがきを嫌がります。**
**奥歯や歯の裏側、歯間がうまく磨けません。**

**お答え** 歯みがきのしやすさは、犬の性格や年齢によるところが大きいようです。幼犬は遊びの延長として、できるだけ毎日続けることが理想です。成犬は「慣れること」を優先し、抵抗の度合いに応じて数日に1回程度から始め、徐々に頻度を増やしていくと良いでしょう。



### Q 何を使ってみがいてますか？



約半数が歯ブラシを使用していました。
次いでシートや指サックタイプが多く、中には軍手でケアしているという方も。あわせて歯磨きジェルを使うなど、複数のアイテムを組み合わせてケアしている方が多いようです。

歯をみがくことは、飼い主にとってはケアの一環ですが、犬にとっては「嫌なことをされている」と感じる場合もあります。人の思いが伝わらないこともあるので、無理をせず、犬のペースに寄り添いながら続けましょう。



**お悩み**

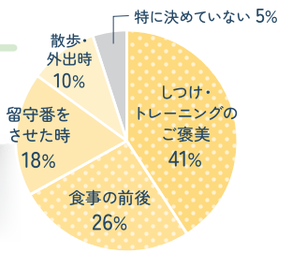
**歯みがき関連のグッズが多くありますが、**
**選び方などがあれば教えてください。**

**お答え** 最初は、指にガーゼを巻いたものや、指サック型の歯みがき用品がおすすめ。犬の反応を感じながらケアができます。特に中型犬・大型犬の場合は、噛む力が強いため、器具が折れたり割れたりするおそれがあります。万が一飲み込んでしまうと、手術が必要になるケースもあるので注意してください。

## 食事・おやつ・体重管理

### Q 97%の人が与えていると回答した「おやつ」。与えるタイミングは？



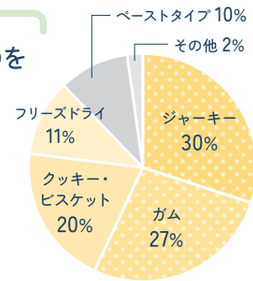



**お悩み**

**フードはあまり食べないのに、おやつはよく食べます。**
**おやつと食事のバランスについて教えてください。**

**お答え** まず大切なのは「おやつはあくまでも副食」という認識を、飼い主様がしっかり持つことです。食事やおやつの種類を増やしすぎると、犬が選り好みをするようになります。すでにおやつ中心の食習慣になってしまった場合は、少しずつ与える種類を減らし、食事の時間を決め、食べない時は下げてください。

### Q おやつはどんなものを与えていますか？




（その他）
煮干し、きゅうり、フルーツのかけら、サツマイモ、せんべい、ささみを茹でたもの、豚の耳ジャーキーのほか手作りのドライフードを与えている人も。

**お悩み**

**果物は甘みがありますが、与える際に注意すべき点を教えてください。**

**お答え** 果物には糖分が含まれているため、与えすぎるとカロリー過多となり、体重増加につながる可能性があります。また、果物の中には犬にとって注意が必要なものもあります。与えても問題ないかを確認した上で少量にとどめ、日々の食事量とのバランスを考慮することが大切です。

**与えてはいけない果物** ぶどう、レーズン、イチジク、グレープフルーツなど

**注意が必要** りんご、桃、さくらんぼなど
果肉は少量であれば問題ありませんが、種や芯には危険があるため必ず取り除いてください。

**お悩み**

**おやつは1日にどのくらいの量であれば問題ないのでしょうか。**



**お答え** おやつの適切な量を知るためには、愛犬のエネルギー要求量を把握しましょう。

**CHECK IT!**

まずは、体重からRER（安静時のエネルギー要求量）を計算します。

$$RER = 30 \times 体重(kg) + 70$$

◎例えば、体重5kgの犬の場合
RER ＝ 30 × 5 ＋ 70 ＝ 220kcal となります。

これに成長段階などに応じた係数をかけます。

DER（1日あたりのエネルギー要求量）

$$DER = 係数 \times RER$$

係数は愛犬の成長段階や活動量によって変わります。

| 係数 | | |
|---|---|---|
| | ○高　　齢：1.1〜1.4 | ○成犬（去勢・避妊済み）：1.6 |
| | ○肥満傾向：1.2〜1.4 | ○成犬（去勢・避妊なし）：1.8 |
| | | ○成長期：2〜3 |

詳しくは獣医師に相談しましょう。



おやつの量については、DERの範囲内で考えることが重要で、目安として、1日の総摂取量のうち9割程度を食事とし、残りの範囲内でおやつを与えることが望ましいと考えています。

**お悩み**

**体重増加対策で、**
**ドッグフードの量を減らすなど**
**調整していますが、なかなか体重が**
**減りません。**

**お答え** 体重管理を行う際は、感覚ではなく、エネルギー量を基準に考えることが重要です。現在の摂取カロリーの8割程度を目安に調整します。フードの量を減らすよりも、フード自体の代謝エネルギー（kcal）を見直す方法がおすすめです。例えば、「うまか」は100gあたり約350kcalですが、これを100gあたり約287kcalの「やわか」に切り替えると、同じ量でも摂取カロリーを63kcal抑えることができます。体重管理は短期間で結果を出そうとせず、数か月単位でゆっくり行うことが大切です。



ちなみに私は「散歩中のごみの拾い食い」に悩んでいます💦
皆さんのお悩みを聞いて、「自分だけじゃないんだ」と少しほっとしました。アンケートのご協力、本当にありがとうございました。



編集担当：市原